土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道375号外道路災害防除工事に伴う測量・地質調査・設計業務委託(単独)

事業名 または 工事名　主要地方道庄原作木線石原地区地質調査

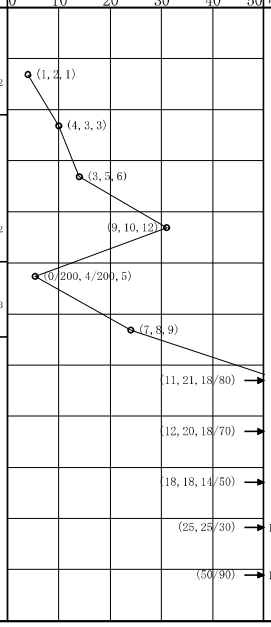
調査目的及び調査対象　道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	15-No.2	**調査位置**	広島県三次市君田町石原地内(No.10+0.8R24.7m)			**北緯**	34° 53′ 12.8″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2021年 3月 1日 ～ 2021年 3月 3日	**東経**	132° 49′ 17.1″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +332.21m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°
総削孔長	11.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦DO-DRxS0型	**エンジン**	ヤンマーNFD10型	**ポンプ** 東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1 2 3	328.31	3.90		泥岩		黒褐灰～淡黄灰～黄褐灰～暗灰				0.1m以浅は黒褐灰色の腐葉土である。 0.1m～0.9mは淡黄灰色の中砂質シルト状の強風化土である。 0.9m～0.95mは淡黄灰色の亜円礫状の風化残留核で比較的硬質である。 0.95m～1.45mは黄褐灰色の中砂質シルト状の強風化土である。 1.45m～1.65mは黄褐灰色のシルト状の強風化土である。 1.65m以深は暗灰色のシルト状～固結シルト状の強風化土である。
4	327.21	5.00		泥岩		暗灰				固結シルト状～岩片状の風化土である。 コアは軽打でバラバラになるが、部分的に硬質な所が岩片状である。
5	326.61	5.60		泥岩		暗灰				シルト状～固結シルト状の強風化土である。 シルト状の強風化土は軟質で含水量が多い。
6 7	323.96	8.25		泥岩		暗灰				固結シルト状～岩片状の風化土である。 コアは軽打でバラバラになるが、部分的に硬質な所が岩片状である。
8 9 10 11	321.21	11.00		泥岩		暗灰				固結シルト状～岩片状コアの軟岩Iである。 9.6m以浅は固結シルト状コアで、部分的に岩片状コアである。 9.6m以深は岩片状コアで、一部で固結シルト状コアである。

孔内水位／測定月日：03/02 2.10、03/02 4.97、03/03 6.45

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1	2	1	4/300		
	1.45						
10	2.15	4	3	3	10/300		
	2.45						
14	3.15	3	5	6	14/300		
	3.45						
31	4.15	9	10	12	31/300		
	4.45						
5	5.00	0/200	4/200	5	9/500		
	5.50						
24	6.15	7	8	9	21/300		
	6.45						
54	7.15	11	21	18/80	50/280	280	
	7.43						
56	8.15	12	20	18/70	50/270	270	
	8.42						
60	9.15	18	18	14/50	50/250	250	
	9.40						
115	10.10	25	25/30		50/130	130	
	10.23						
167	11.05	50/90			50/90	90	
	11.14						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
	孔内傾斜計	

室内試験	原位置試験
	設置・観測
	11.00

削孔月日
3/2
3/3